

## 2021年度 高等学院同窓会学術研究奨励金 研究成果報告書概要 (WEB 公開用)

高等学院長  
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [ 本多 修造 ]

学年・組・番号 [ 3年 C組 39番 ]

**研究課題：** 学院生の災害(主に地震・火災・大雨等)への意識を向上させるにはどのような活動の実施が有効か。

(英文) Survey of activities effective in raising awareness of disasters (mainly earthquakes, fires, heavy rain, etc.) among Waseda University Senior High School students.

### 研究概要：

(研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について200～400字で記入してください)

学院生の防災意識を向上させ、災害時の被害を可能な限り減らすために上記の研究課題を選択した。学芸発表会での発表やSNS (Twitter, Instagram) を用いて通常の防災知識のみならず、学院に特化した防災情報を発信する。また、石神井消防署を訪問し専門家からのご意見をいただく。

従来の避難訓練は年に1度、それも木曜4限のホームルーム中に行われるものであり、改善の必要があると考えられる。改善点をまとめ、高等学院事務所・教務室と協力しつつ実践的な避難訓練を行えるようにしたい。自然災害だけではなく、ミサイル防衛などの武力攻撃に関しても研究を行う。

学院生がどの程度防災意識・知識を持っているかを確認(現状調査)するため、Google フォームを利用して調査を行う。文部科学省等の関係機関に対しても具体的な取り組みを確認、学院に当てはめて実践的な防災計画を作成する。

### 研究成果：

(研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について200～400字で記入してください)

従来の避難訓練に対し、生徒目線からの提言を行ったことでより実態に即した避難訓練の実施に貢献できたと考えられる。高等学院に特化した防災啓発ビデオの放映・帰宅困難者対応・被災時の人命救助などについて具体的な申し入れを行った。また、消防署訪問では、災害時には自転車での移動が有効である等の知見を得ることができた。

SNS (Instagram) で行った発信に学院生から「安心する」「いつでも防災情報を確認できるのでありがたい」などの意見を頂くなど、一定の効果があつたものと認識している。これ以外にも学芸発表会での成果報告や備蓄倉庫調査等の活動も行っている。

**研究者：**(以下の、代表者・分担者は学年・組・氏名を明記する)

研究代表者 本多 修造 (3年C組)

研究分担者 村井 成 (3年B組) 増野 優斗 (3年D組)

高岡 大祐 (3年E組) 石井 鼓紋 (3年E組) 田中 奨三 (3年B組)

担当教諭 武沢護 先生

(受給額： 25,000円)

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名がWEB ページ上で公開されることに同意します

(次のページに続きます)

## 研究成果写真：

(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)



図 1. 学芸発表会の様子 (早稲田大学高等学院, 2021 年 11 月 13 日)



図 2. 訪れた石神井消防署 (石神井消防署, 2021 年 10 月 8 日)

学院の防災訓練は十分な内容だと思いますか。

161 件の回答

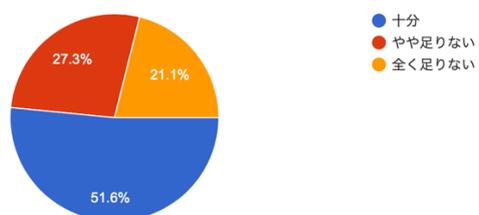


図 3. 学院生を対象に実施したアンケート結果の一部

以上